

令和元年度
農業・農地の意向に関するアンケート調査

報告書

日進市

<調査の概要>

(1) 調査の目的

近年、全国的に農業の担い手の不足、高齢化の進行などから耕作放棄地が増加し、経営耕地面積が減少する傾向があります。本アンケート調査は、農家の皆様が、今後5年度、10年後といった近い将来、ご自身の農業をどのようにしていきたいと考えているか意向を把握し、耕作していない農地や今後耕作を継続することが難しくなると考えている農地を所有している農家の皆様と担い手となる個人や法人などをつなぐために実施しました。

(2) 調査の概要

本アンケート調査の概要は以下に示すとおり。

調 査 対 象 : 日進市内に農地を所有する人

調 査 方 法 : ①営農組合による配布・回収
②郵送による配布・回収

調 査 時 期 : 令和元年6月 ~ 令和元年8月

配 布 数 : 総数1,479件(①1,064件、②415件)

回 収 数 : 総数1,150件(①976件、②174件)

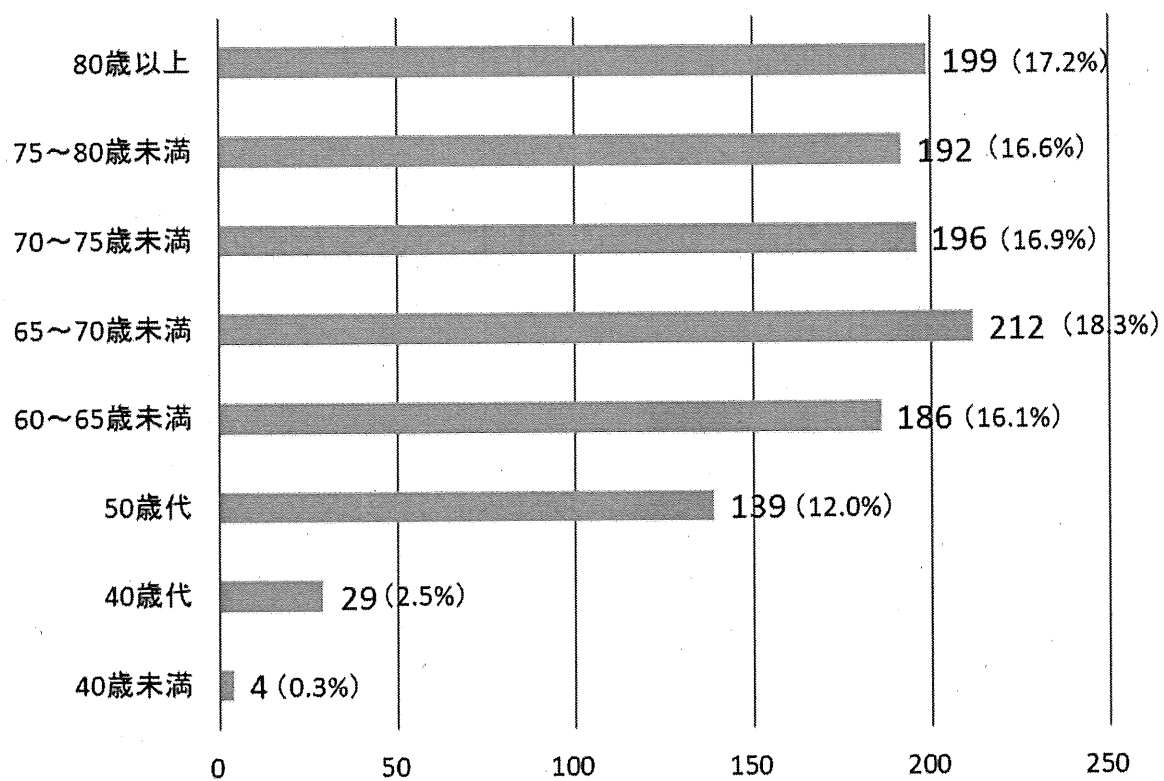
回収率 77.76%(①91.73%、②41.93%)

<調査結果>

【問1】主に農地を管理している方の年齢を教えてください。

●主に農地を管理している人は、60歳以上が約8割を占め、75歳以上が約3割を占めた。

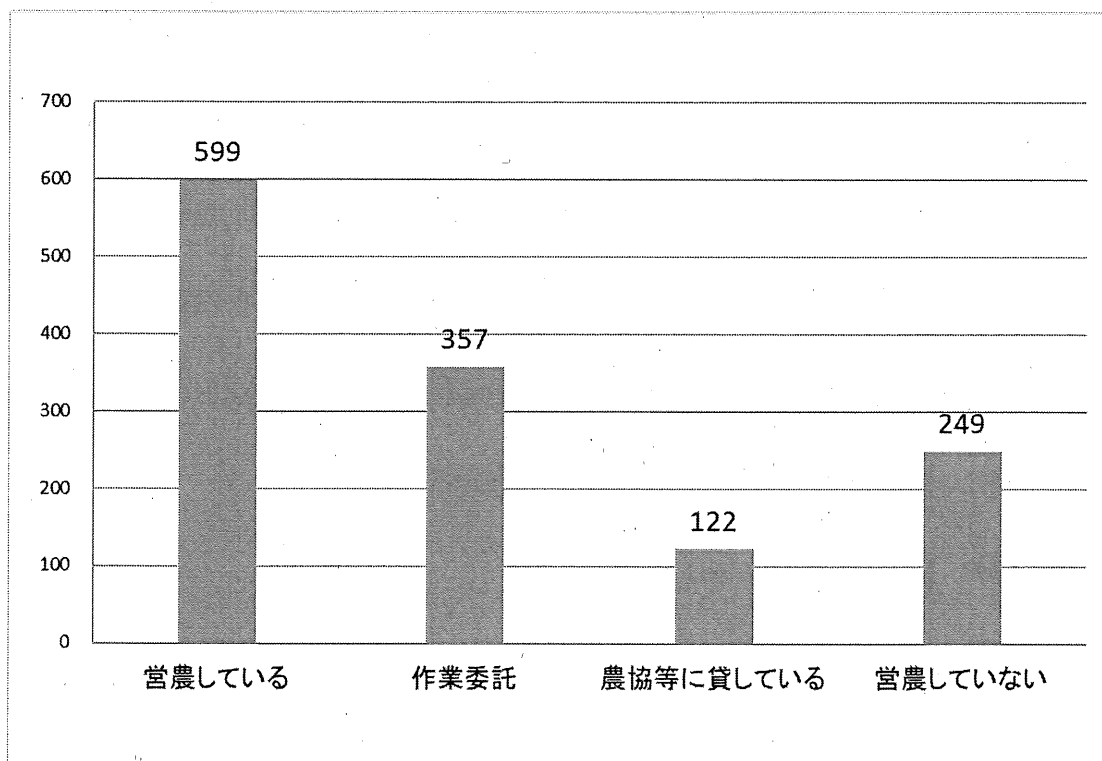
【図表1 主に農地を管理している人の年齢（人（％））】



【問2】あなたが所有している農地では、営農をしていますか。

- 約5割の人が、所有する農地で、「営農している」と回答した。
- 約4割の人が、所有する農地で、「作業受託」・「農協等に貸している」と回答した。
- 約2割の人が、所有する農地で、「営農していない」と回答した。

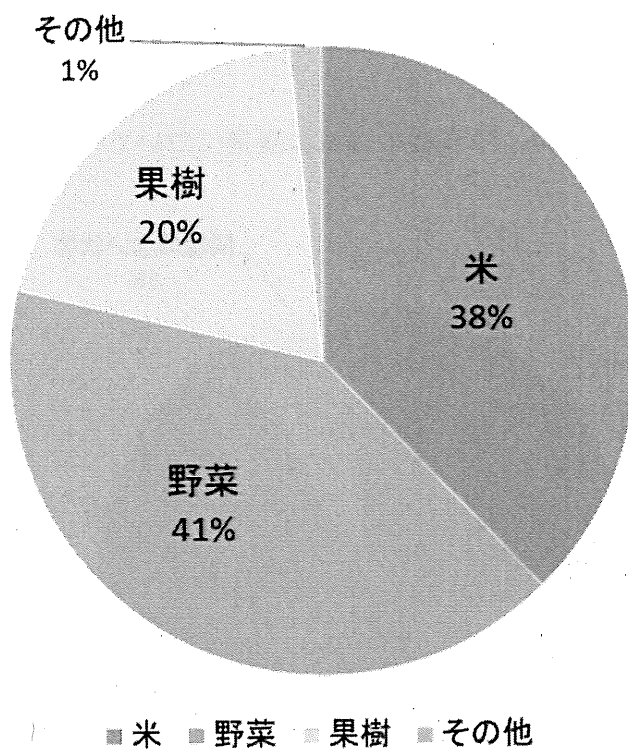
【図表2 所有農地の営農実態（人）】



【問3】あなたの農地で作っている作物を教えてください。【複数回答可】

- 約4割の人が、作っている作物は、「米」と回答した。
- 約4割の人が、作っている作物は、「野菜」と回答した。

【図表 3-1 作付けしている農作物の種別の比率（％）】



【(参考) 図表 3-2 作付けしている農作物の種別の比率】

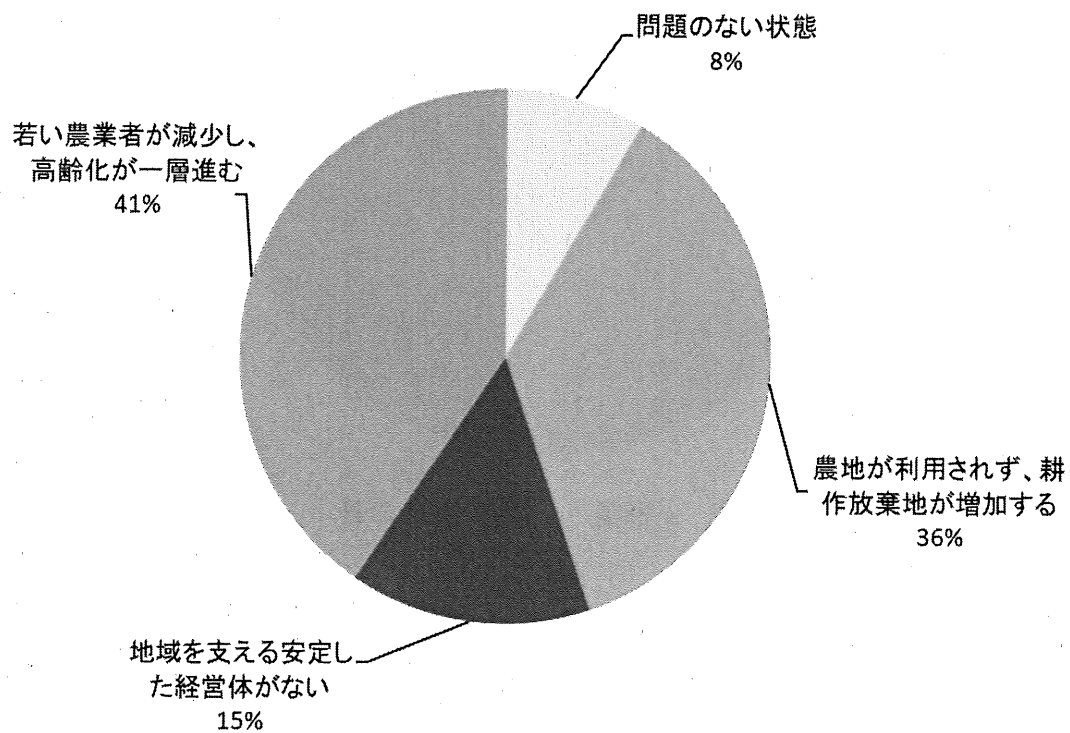
	経営耕地面積 (ha)		
	田	畑	樹園地
H17	237	74	20
H22	194	62	19
H27	199	63	18

(出典: 農林業センサス)

【問4】あなたの地域の農業（人と農地）は、10年後にどのようなになっていると思いますか。【複数回答可】

- 約9割の人が、地域の農業に対して課題がある、と回答した。
- それぞれ約4割の人が、「農業者の高齢化が一層進む」、「耕作放棄地が増加する」と回答した。

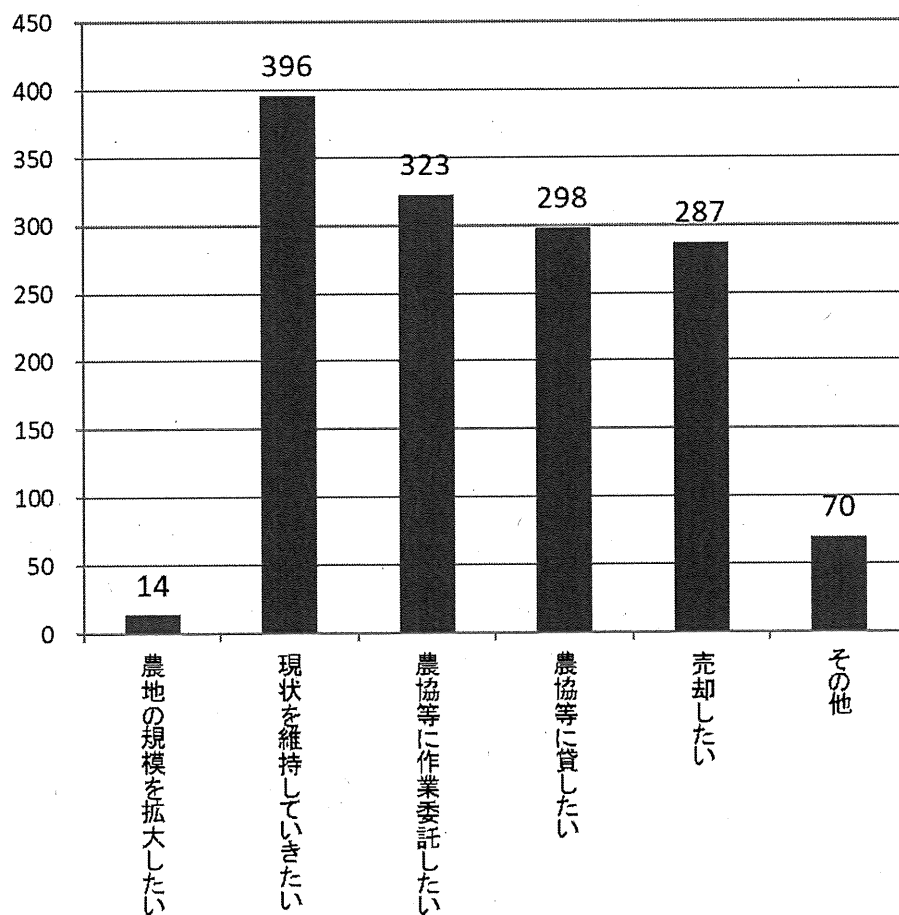
【図表4 10年後の地域の農業について（％）】



【問5】今後(5年後、10年後)、あなたの所有している農地をどのようにしていきたいと考えますか。

- 約3割の人が、「現状維持」と回答した。
- それぞれ約2割の人が、「農協等への作業委託」、「農協等への借地」、「売却したい」と回答した。
- その他として、「定年後の健康づくり」等で農地を活用していくとの意見が一部であったが、多くは「宅地にしたい」、「農業以外のものに利用したい」等の意見であった。

【図表5 今後における所有農地の活用の意向（人）】



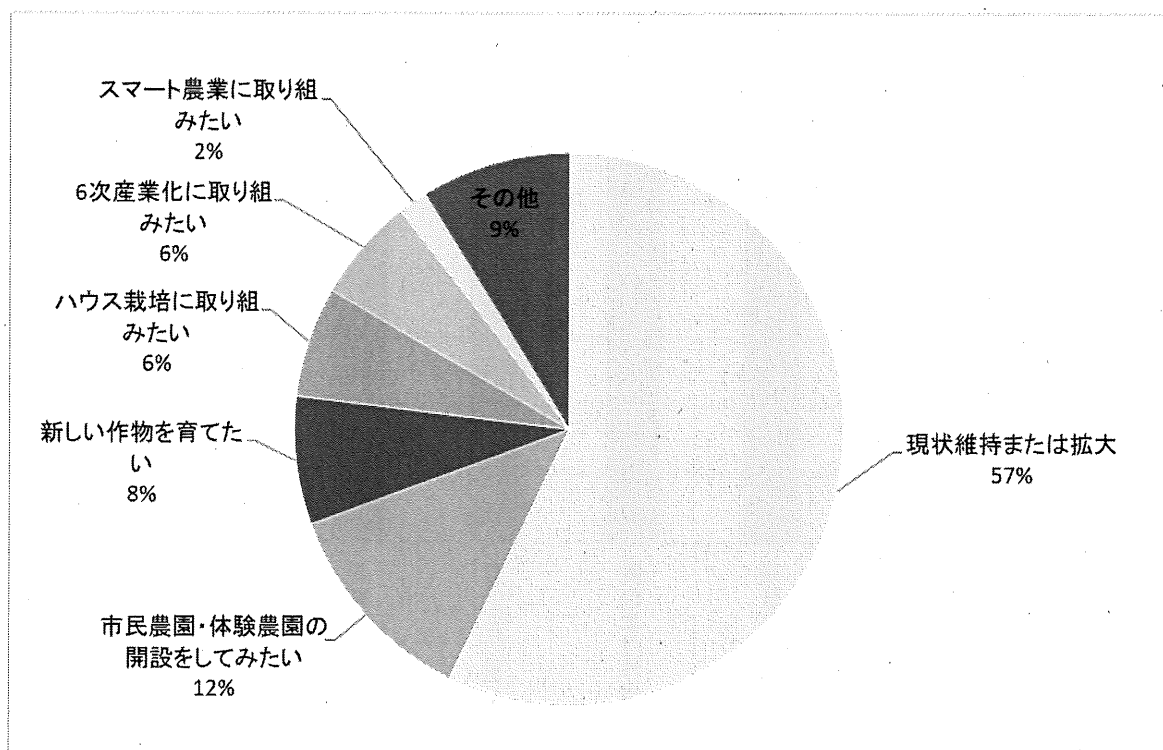
(問5で、1又は2と回答した人のみ)

【問6】今後(5年後、10年後)、あなたは農地をどのように活用していきたいと考えますか。

【複数回答可】

- 約6割の人が、「現状維持または拡大したい」と回答した。
- 約1割の人が、「市民農園・体験農園を開設してみたい」と回答した。

【図表 6 今後における所有農地の活用の意向(%)】

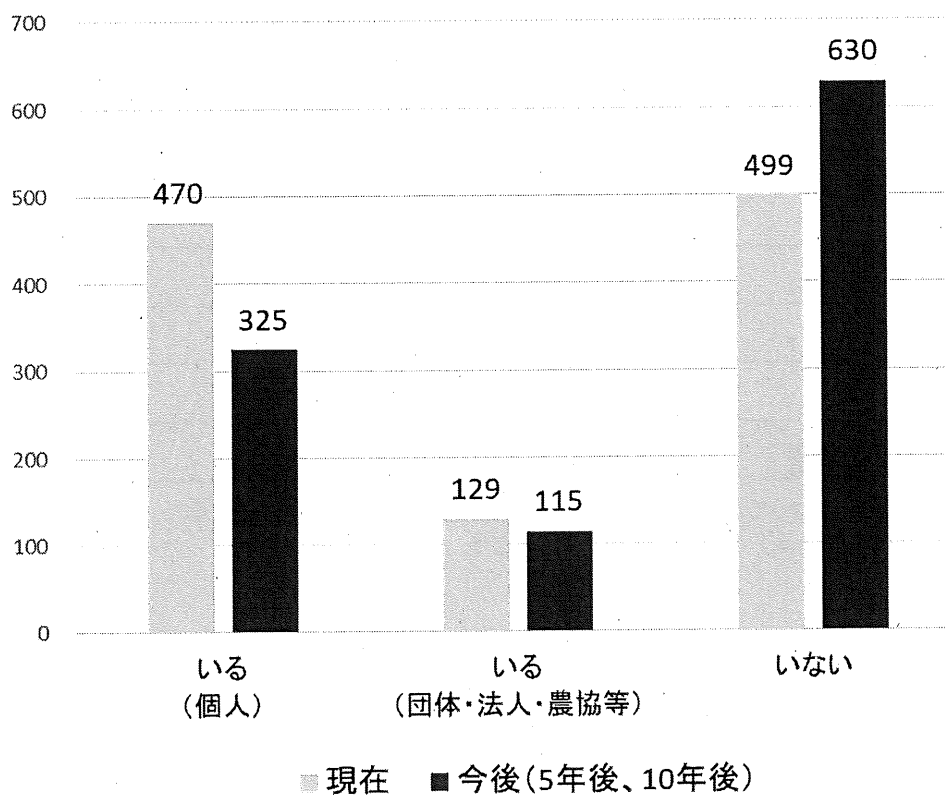


【問7】現在、あなたの農地の担い手はいますか。

【問8】今後(5年後、10年後)、あなたの農地の担い手はいますか。

●現在は、農地の担い手が、「いる」が「いない」を上回っているが、今後(5年度、10年後)は、「いない」が「いる」を大きく上回った。

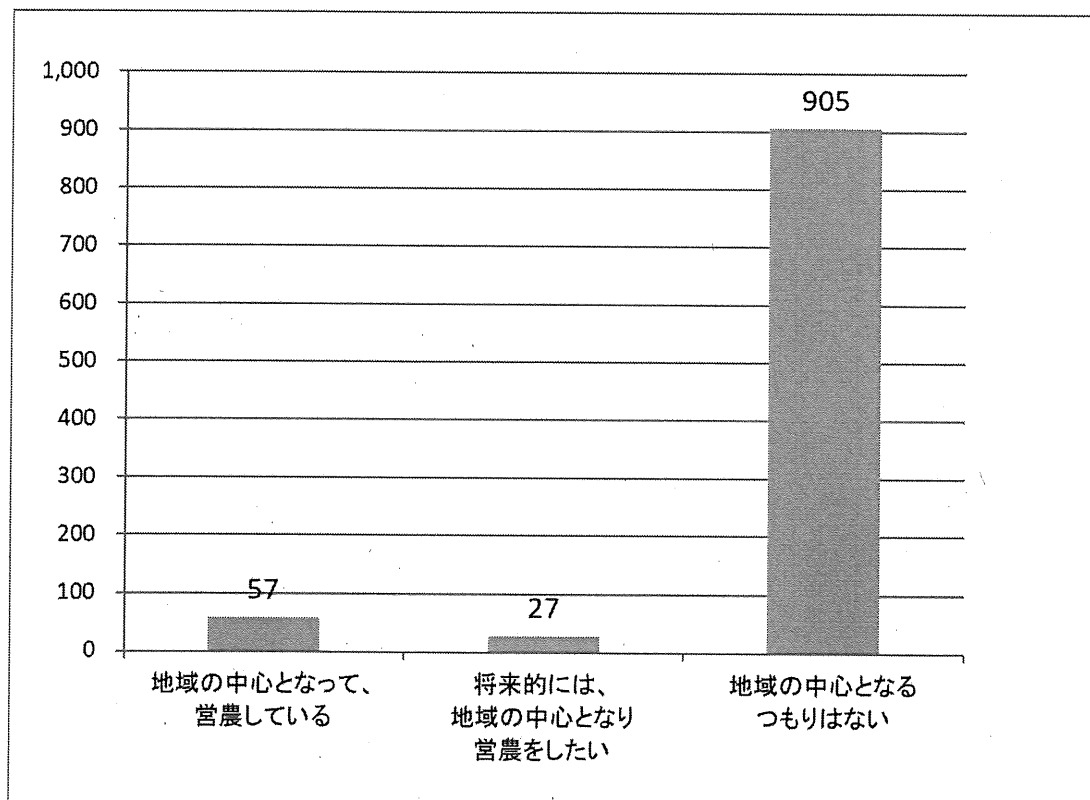
【図表7 農地の担い手の有無(人)】



【問9】あなたの営農は、地域の中でどういう位置付けだと思いますか。

- 約9割の人が、「現在も将来も、地域の中心となるつもりはない」と回答した。

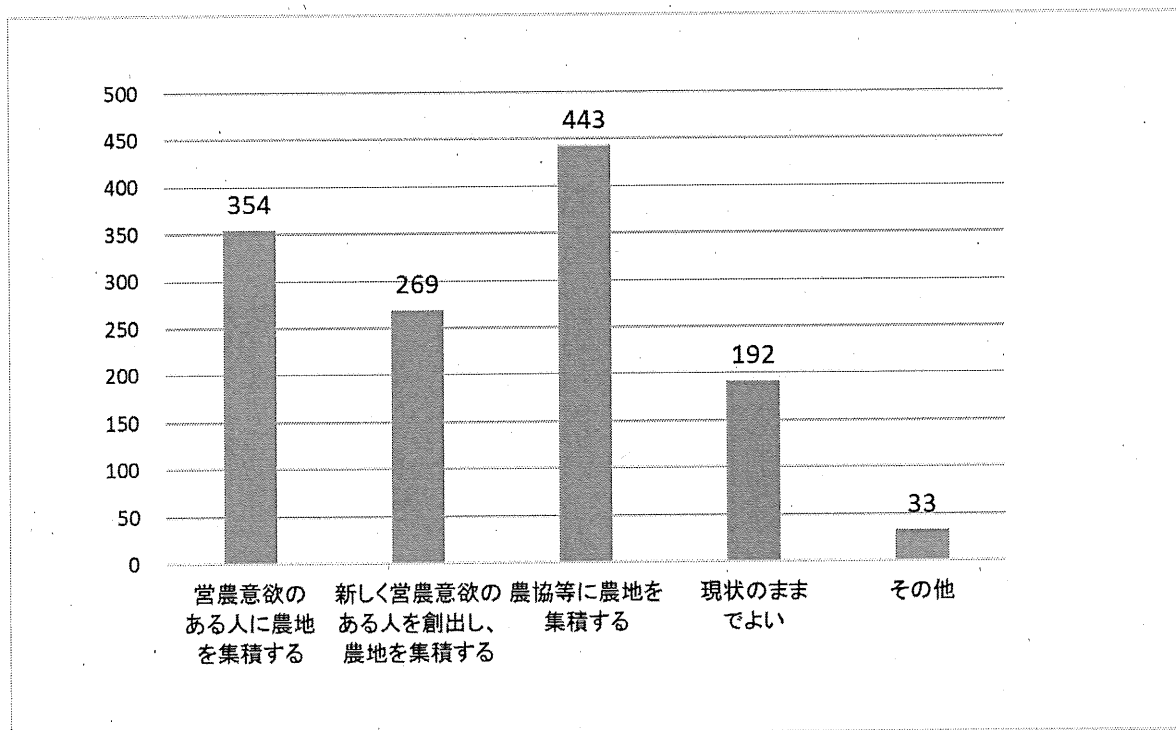
【図表 8 地域での営農の位置付け（人）】



【問10】あなたが営農する地域の農業（人と農地）を持続可能なものとするためには、今後どうしたらよいと思いますか。【複数回答可】

- 約8割の人が、「農協等、営農意欲・能力のある個人・団体に農地を集積して農業を行う」と回答した。
- 「現状のままでよい」と回答した人の意見に、「農協に一部作業委託している」、「保全管理」等があった。

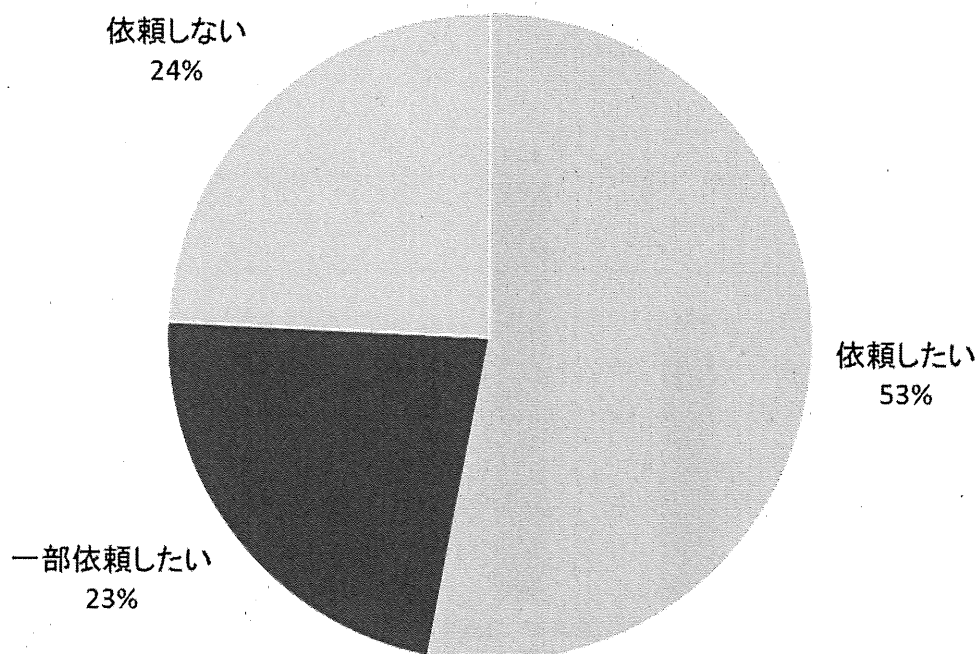
【図表9 地域の農業を持続可能とするための方向性（人）】



【問11】地域の米作り等に取り組む営農組織ができた場合、営農を依頼したいと思いますか。

- 約8割の人が、営農の全部もしくは一部を依頼したいと回答した。
- 「依頼しない」と回答した人の理由としては、「依頼できるほどの農地面積がない」、「すでに貸している」、「先祖代々の土地だから」等の意見があった。

【図表 10 地域の営農組織への営農の依頼についての意向（％）】

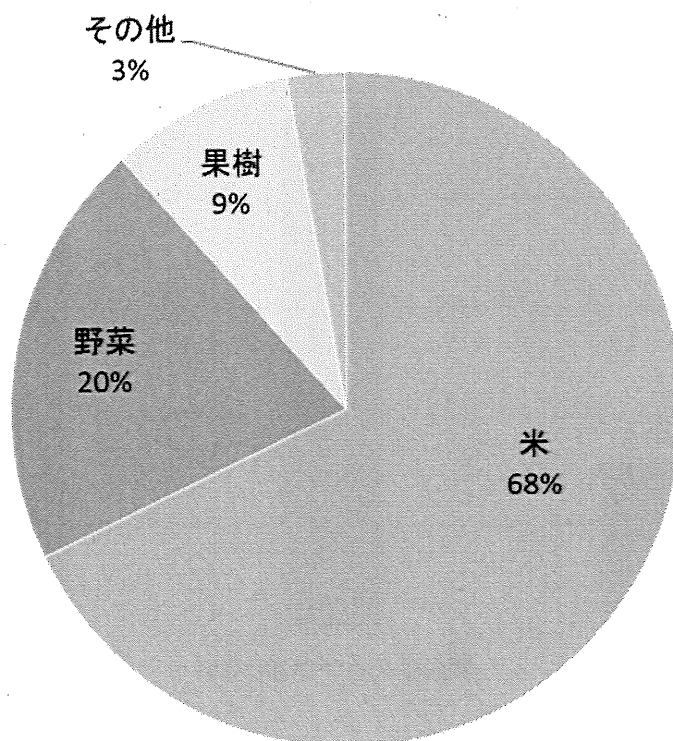


(問11で、1又は2で回答した人のみ)

【問12】営農を依頼したい作物は何ですか。

- 約7割の人が、「米」と回答した。
- 約2割の人が、「野菜」と回答した。
- 約1割の人が、「果樹」と回答した。
- その他の意見では、「付加価値の高い作物」、「お金になる作物」等があった。

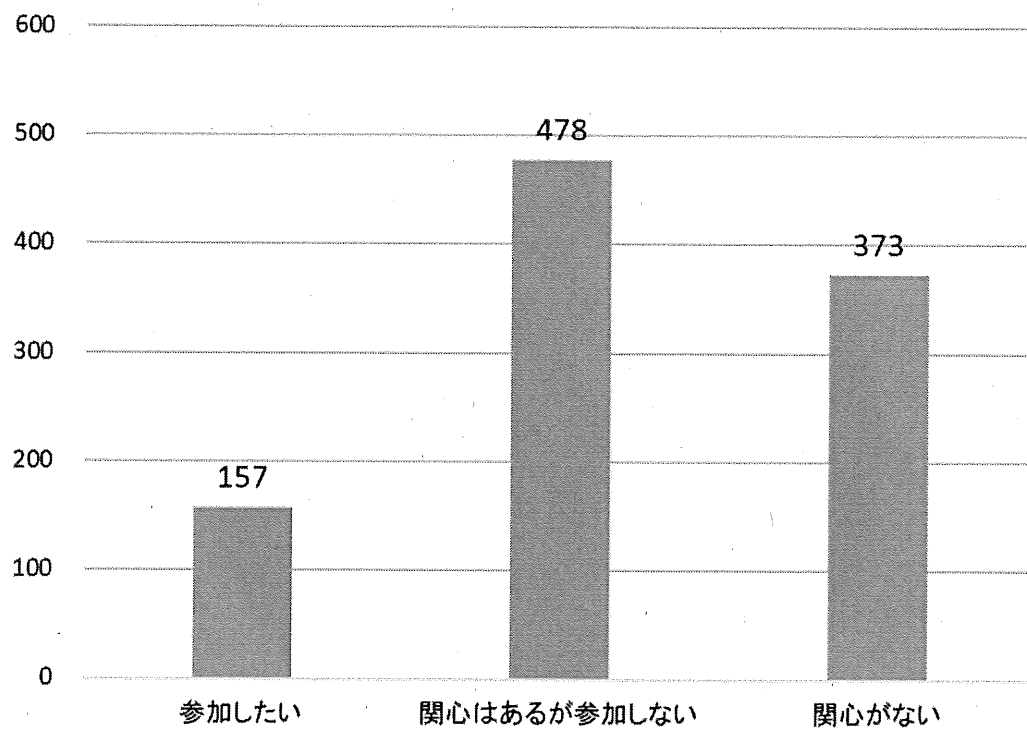
【図表 11 地域の営農組織に営農を依頼したい作物（％）】



【問13】地域の米作り等に取り組む営農組織ができた場合、その組織に参加してみたいと思いますか。

- 約8割の人が、営農組織への参加意向がない、と回答した。
- 約2割の人が、営農組織への参加意向がある、と回答した。

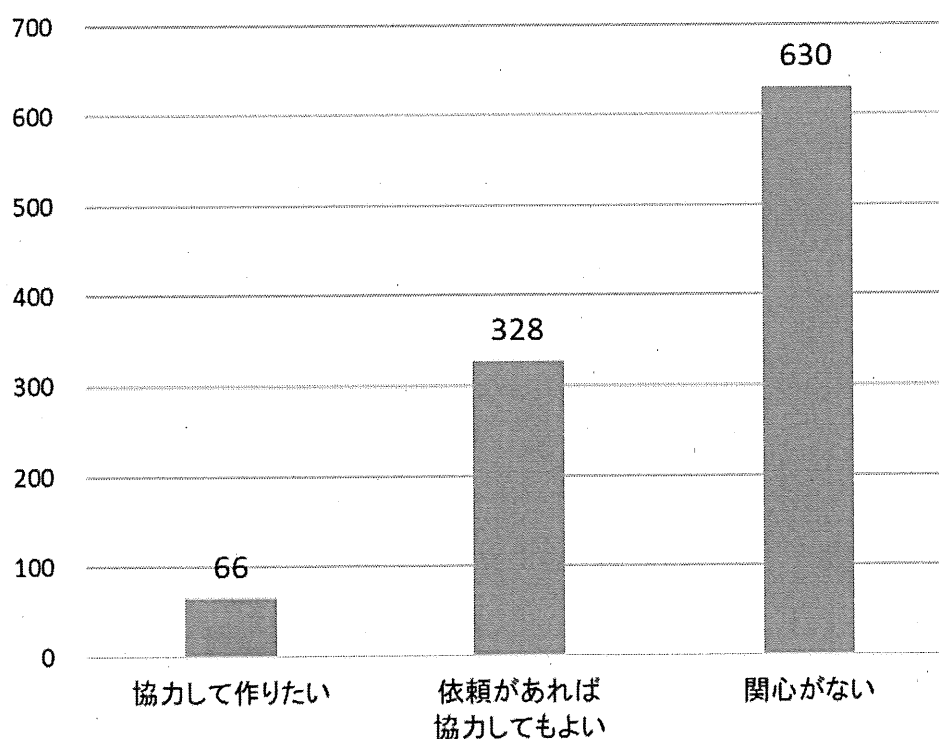
【図表 12 営農組織への参加意向（人）】



【問14】市内で収穫した米は、その多くが一括して農協で管理されています。今後、収穫した米が、地域ごと(例えば、各地区ごと)に管理され、それぞれの地域のブランド米として販売できるようになった場合、あなたの意向を教えてください。

- 約6割の人が、「関心がない」、と回答した。
- 約4割の人が、「作りたい(作ってもよい)」、と回答した。

【図表 13 ブランド米を創出した場合の米作りの意向 (人)】



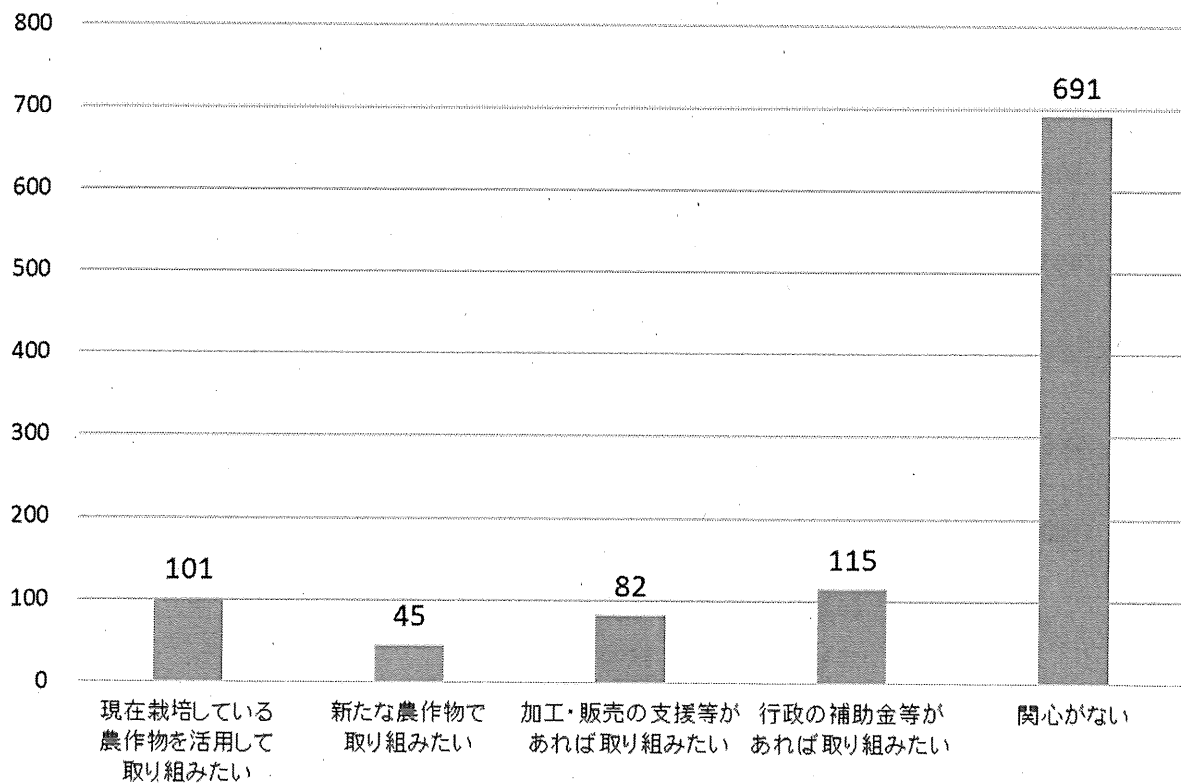
【問15】昨年度、本市は「日進市6次産業化推進戦略※」を策定しました。6次産業化について、あなたの意向を教えてください。

※日進市6次産業化推進戦略…農畜産物に付加価値を与え、商品開発やブランド化など、競争力のある商品として売り出すことで、農業所得の向上につなげる戦略。

●約7割の人が、「関心がない」、と回答した。

●約3割の人が、「取り組みたい」、と回答した。

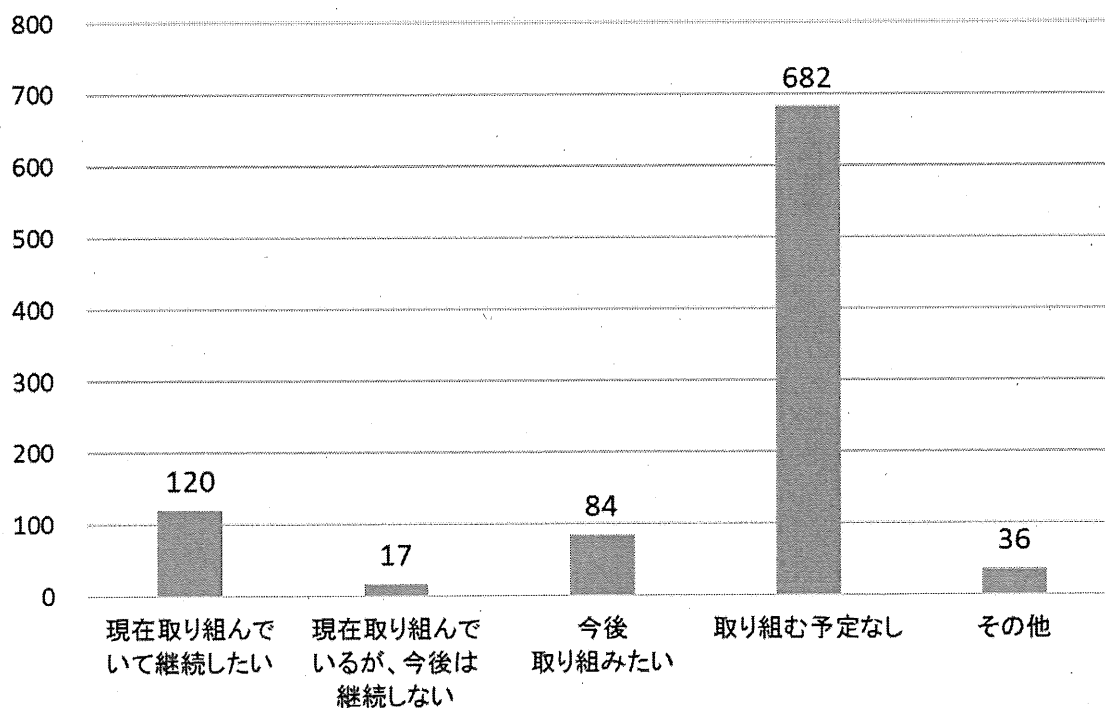
【図表 14 6次産業化に対する意向（人）】



【問16】有機農業など、環境に配慮した農業について、あなたの意向を教えてください。

- 約7割の人が、「取り組む予定はない」、と回答した。
- 約2割の人が、「取り組んでいる（取り組む意向がある）」、と回答した。
- 有機農業に対する課題等の意見では、「害虫等の駆除等、毎日の管理が難しい」、「指導・援助等が必要」、「手間・費用・栽培技術が必要」等があった。

【図表 15 環境に配慮した農業に対する意向（人）】



【問17】日進市全域の農業、農地のあり方について、どのようなとよいと思いますか。【複数回答可】

- 約5割の人が、「地域の実情に合わせて、多様な農業、農地の使い方をしたほうがよい」、と回答した。
具体的な提案として、「都市近郊の利点を生かした栽培」、「農地の保全は大切であるが、土地の有効利用も大切」、「農業に不向きなので、地の利を生かした工業団地等」等があった。
- 約4割の人が、「豊かな農地（田畑）の広がる自然環境、景観のよい状況を継続したい」、と回答した。
- その他の意見では、「農業にこだわらず、日進市全体の産業を考えるべき」、「土地の弾力的な活用」、「農地の管理が難しい」、「高齢により環境や実情に合わせる事ができない」、「分からない」等があった。

【図表 16 日進市の農業、農地のあり方について（人）】

